

# 防災気象情報の改善等の取組について

---

令和3年2月18日  
兵庫県防災会議

平成26年には、記録的な降雪により、直轄国道で通行止め、立ち往生車両が続出した

## ①平成26年2月14日～16日 関東一円の大雪による交通障害の状況(国交省資料より抜粋)

<通行止め・立ち往生車両の状況>

- 直轄国道 15路線、34箇所において通行止めを実施。
- 直轄国道においても、急激な積雪による立ち往生車両が続出。(最大約1,500台)

<今回の大きな特徴>

- 普段雪が少ない地域における大雪
- 道路管理者の除雪対応能力が不足
- ドライバーの冬装備が不十分

⇒ これらが大規模な立ち往生につながった。



甲府河川国道  
国道20号(山梨県大月市:15日)

## ②平成26年12月5日 愛媛-徳島の国道192号の状況(国交省資料より抜粋)

徳島県西部で異例とも言える12月上旬の降雪により、孤立集落の発生や交通障害が発生し社会的な影響を及ぼした。



立ち往生して動けない車両

### 近年の大雪による災害状況の変化

大雪注意報・警報の対象とする災害は、近年は発生頻度の少ない家屋損壊等から、頻度が多く、物流など社会的な影響の大きい交通障害にシフトしています。

そのため

近年、毎年各地で交通障害や孤立集落が発生

大雪の影響の大きい交通関係機関(特に道路)が利用できるような基準の設定が必要

令和元年11月14日から変更

大雪警報・注意報の旧基準(24時間降雪の深さ)

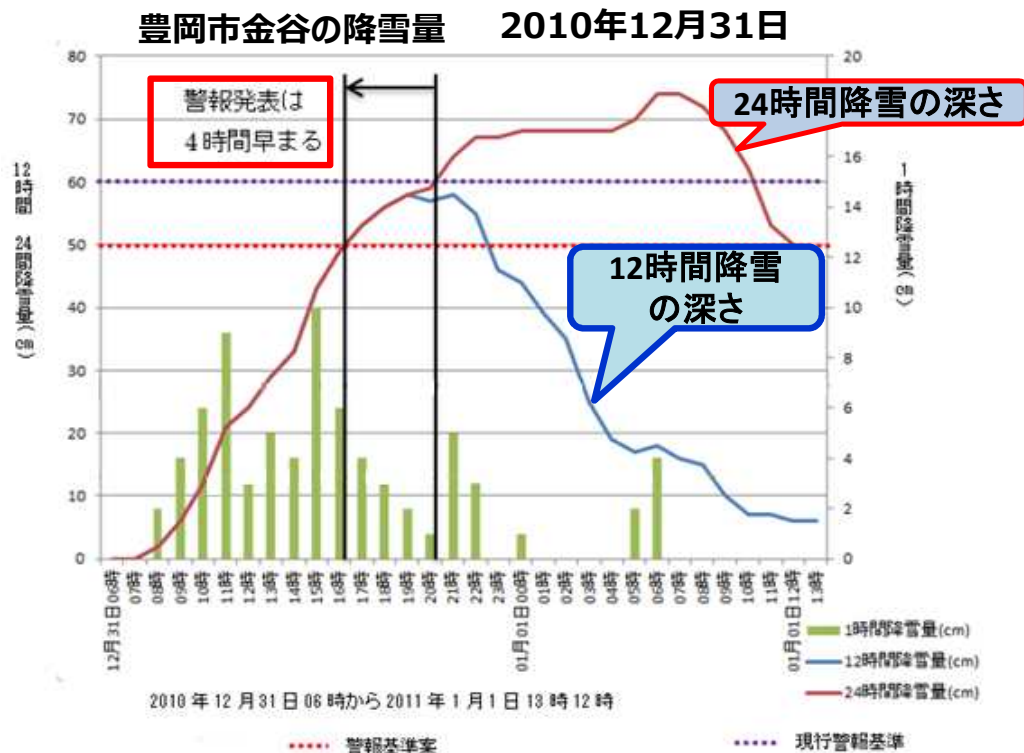
一次細分区域		北部		南部						
市町村等をまとめた地域		但馬北部	但馬南部	播磨北西部 (宍粟市)	播磨北西部 (宍粟市を除く)	北播丹波	播磨南西部	播磨南東部	阪神	淡路島
大雪警報	24時間降雪 の深さ	60cm	60cm	山地 60cm	山地 40cm	山地 40cm				
				平地 20cm	平地 20cm	平地 20cm				
大雪注意報	の深さ	30cm	30cm	山地 30cm	山地 20cm	山地 20cm				
				平地 10cm	平地 10cm	平地 10cm				

大雪警報・注意報の新基準(12時間降雪の深さ)

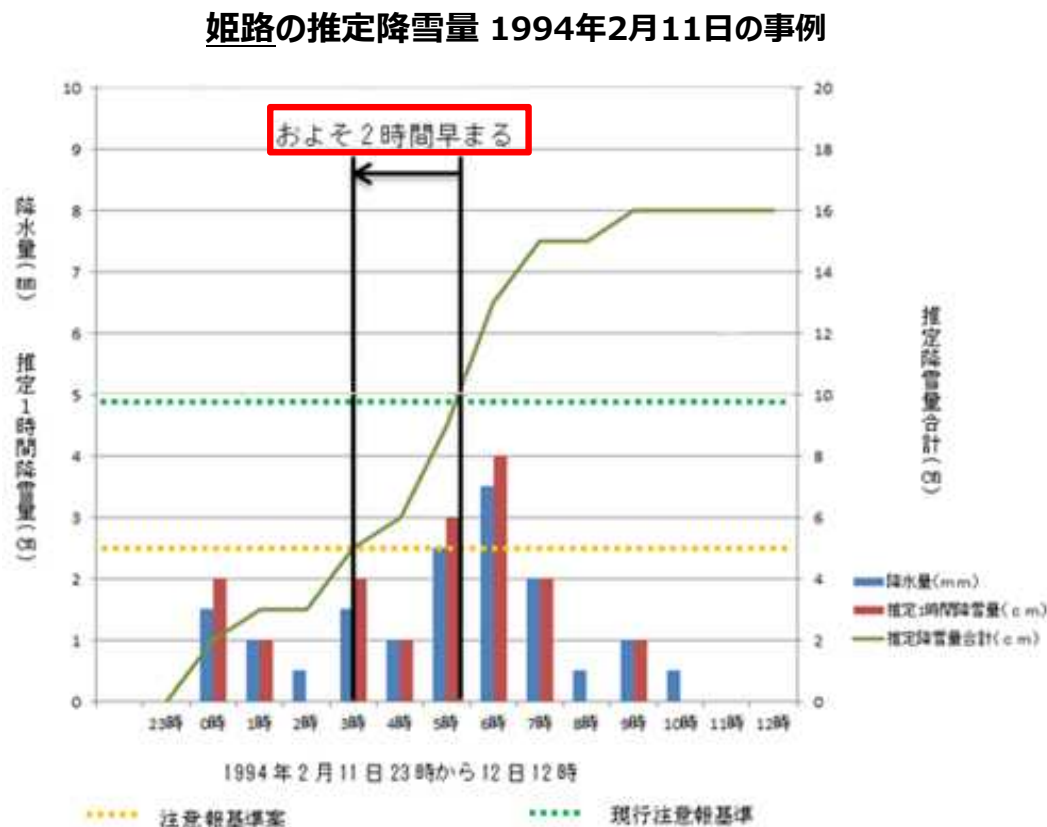
一次細分区域		北部		南部						
市町村等をまとめた地域		但馬北部	但馬南部	播磨北西部 (宍粟市)	播磨北西部 (宍粟市を除く)	北播丹波	播磨南西部	播磨南東部	阪神	淡路島
大雪警報	12時間降雪 の深さ	50cm	50cm	山地 50cm	山地 35cm	山地 35cm	山地 20cm			
				平地 20cm	平地 20cm	平地 30cm	平地 10cm			
大雪注意報	の深さ	30cm	30cm	山地 25cm	山地 20cm	山地 20cm	山地 10cm			
				平地 10cm	平地 10cm	平地 10cm	平地 5cm			

市町ごとの基準は、気象庁ホームページに掲載

## 2010年12月兵庫県北部の大雪事例(警報級)



## 1994年2月兵庫県南部の大雪事例(注意報級)



新基準は旧基準より4時間早く捕捉

新基準は旧基準よりおよそ2時間早く、降雪が強まる前に大雪注意報の発表が可能

### 発表タイミングの早期化



除雪準備、高速道の入口閉鎖等の早めの防災対策が可能

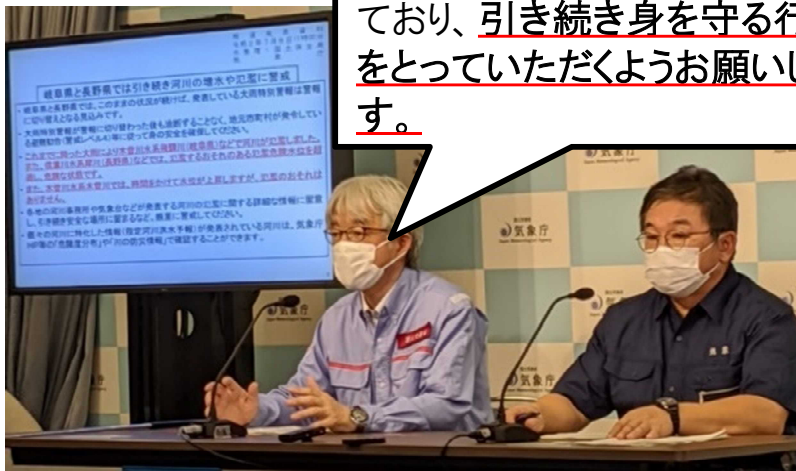
- ▶ 令和元年東日本台風における検証を踏まえ、今年度より大雨特別警報解除後の注意喚起のため、水管理・国土保全局と気象庁の合同会見を実施するとともに、河川氾濫に関する情報を発表することとした。
- ▶ 令和2年7月豪雨においては、熊本県等に発表されていた大雨特別警報の大雨警報への切替に先立って、合同記者会見を計3回開催。また、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることの注意喚起を行った。

**令和2年出水期から実施**

- (国交省・気象庁の検証体制)
- 河川・気象情報に関する検証チーム(省内)
  - 防災気象情報に関する伝え方検討会(有識者)
  - 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザードリスク共有プロジェクト(メディア等)

## 水管理・国土保全局と気象庁との合同記者会見

## 河川氾濫に関する情報 (球磨川の例)



大雨特別警報は警報に切り替わりますが、既に氾濫が発生しており、引き続き身を守る行動をとっていただくようお願いします。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川 には、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	萩原 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	おおの 大野 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	わたり 渡 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	ひとよし 人吉 (熊本県人吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	いちぶ 一武 (熊本県球磨郡隠神町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい
球磨川	たらぎ 多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫危険水位超過	水位は横ばい

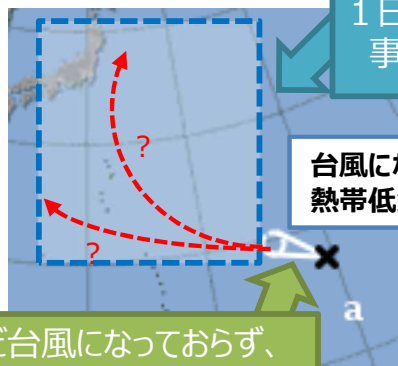
- ▶ 台風が発達すると予想される熱帯低気圧の段階から、5日間先までの台風進路・強度予報を提供することとした。

令和2年9月9日から実施

## 発達する熱帯低気圧に関する情報の充実

### 改善前

○令和元年房総半島台風  
(台風第15号)の事例



1日先以降の予報がなく、  
事前対策が取れない

台風になる前の  
熱帯低気圧

まだ台風になっておらず、  
1日後のみの予報を提供

房総半島台風のような非常に強い台風が、より日本近辺で発生した場合、災害への事前対策が間に合わない可能性がある。

### 改善後

5日先までの予報を提供



強い勢力で接近  
することが分かり、  
事前対策が取れる

熱帯低気圧の段階から  
5日先までの予報を  
提供

今後、日本近海で  
台風が発生するおそれ

台風になる前の段階から5日先までの予報を提供し、  
地域におけるタイムラインに沿った防災対応を支援する。

日本付近で台風が発達する熱帯低気圧に対しても、十分なリードタイムで対策がとれるようにし、被害の縮減が可能

# 防災気象情報提供プラットフォーム改善 (ホームページリニューアル①)

➤ 見やすさ、操作しやすさ重視 (スマートフォン表示対応)

令和3年2月24日 予定

➤ トップページの分かりやすい場所から ワンクリックで、地域の防災ページに遷移



←PC表示



↓スマートフォン表示



全国の気象台のページ  
地域の災害に関する情報、  
広報イベントや講演会など  
地域情報の発信強化

- 発表中の防災情報が一目で分かるようにアイコン表示するとともに、様々な情報を1ページにまとめて表示。要素は、利用者が独自にカスタマイズ可能。
- デフォルト（今注目の防災情報）では、当該地域に重要な情報をページ上段に表示。
- 防災担当者専用ページ（防災情報提供システム）を統合し、同ページの一部コンテンツ（気象台からのコメント、3・24時間解析雨量・降水短時間予報（今後の雨）など）を新たに掲載。

## PC表示

## スマートフォン表示



兵庫県内の地域毎に「担当チーム」を設置し、  
 平時から「顔の見える関係」を構築することで、**地域防災力の向上**に直結する取組を推進します。

## 「担当チーム」



### 平時には

担当チームが窓口となり、地域密着型で  
**“ワンストップ”**での支援を実施



### ● 地域防災力アップ

- 気象解説
- 防災対応マニュアル等への助言
- 実践的な研修・訓練 **“気象防災ワークショップ”**



### 緊急時には

防災気象情報を的確に「理解・活用」した防災対応へ

### ● ホットライン



- 予報官コメント
- 気象台メール

### 災害時には

### ● JETT派遣



### 現象後には

- 現象後の振り返り



※JETT (気象庁防災対応支援チーム)